

世界史

【出題の範囲】

『歴史総合,世界史探究』

【出題の意図】

高等学校における標準的な学習により世界史の知識を習得しているかを問うため、基本的に教科書・用語集・資料集に記載されている範囲から出題している。

【出題内容・形式・配点・試験時間】

内容	形式	配点	試験時間
大問① 古代ギリシア世界の都市国家アテネの民主制の特徴（現代の民主制との違いも含めて）について、さらにポリスとポリスの国際関係および古代ギリシアとその外部世界との歴史を理解できているかを問う出題となっている。	マーク	25点	60分
大問② 三国時代以降から朝鮮戦争までの朝鮮半島の通史を扱う出題である。なお、近現代の日本史と世界史の統合を目指す『歴史総合』の趣旨を踏まえて、朝鮮半島と日本の交流史の理解を問う問題も含めている。	マーク	23点	
大問③ 16世紀の宗教改革がヨーロッパの政治や宗教にどのような影響を与え、そして主権国家体系の形成につながったのかを問う出題になっている。なお、同時代のヨーロッパとその域外との関係を扱う問題も含まれている。	マーク	24点	
大問④ 20世紀後半のアジア・アフリカの脱植民地化とその影響の歴史について、ヨーロッパ列強による帝国主義・植民地支配という歴史的背景も踏まえた形の出題とした。また、脱植民地化を後押しした国連の役割に関する資料を読み解く問題も含んでいる。	マーク	28点	